

金融経済概況

【全体感】

道北地域¹の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

すなわち、最終需要の動きをみると、個人消費は、下押し圧力が依然として強いが、一部に持ち直しの動きがみられている。観光は、引き続き厳しい状況にあり、持ち直しの動きが足踏みしている。公共投資は、高水準となっている。住宅投資は、緩やかに持ち直している。

労働需給は、弱めの動きがみられている。金融面では、預金、貸出とも前年より増加している。

【各論】

1. 需要項目別動向

個人消費については、下押し圧力が依然として強いが、一部に持ち直しの動きがみられている。

主要大型店は、衣料品が低水準となっているものの、食料品は底堅い動きとなっている。家電販売は、増勢が鈍化している。また、乗用車販売は、供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直しの動きがみられている。

観光は、引き続き厳しい状況にあり、持ち直しの動きが足踏みしている。

旭川地区のホテル客室稼働率、ホテル・旅館宿泊客数、観光客の入込みとも、低い水準にあり、持ち直しの動きが足踏みしている。

公共投資は、高水準となっている。

公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準となっている。

住宅投資は、緩やかに持ち直している。

新設住宅着工戸数をみると、持家は持ち直している。貸家は高めの水準で推移し

¹ 道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内のことをいう。

ている。分譲は概ね横這い圏内の動きとなっている。

2. 業種別動向

第一次産業では、生乳は出荷が増加している。オホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）の水揚げは、増加している。

第二次産業では、製材は増加している一方、紙・パルプは減少している。

3. 雇用・倒産動向

労働需給は、弱めの動きがみられている。

有効求人倍率（常用＜旭川、北見、稚内、網走＞）、新規求人数（同）とも、弱めの動きとなっている。

倒産件数は、落ち着いている。

4. 金融動向

預金残高、貸出残高とも、前年より増加している。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <https://www3.boj.or.jp/asahikawa/>